

# I .取組状況

## 0 序文

2025年11月1日

### 組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および KPI実績値の公表について

JAグループは、食と農を基軸とし地域に根ざした協同組合として、助け合い精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会への実現を理念に掲げています。

当組合では「地域社会と一緒に組合員の事業と生活の向上に貢献いたします」という理念のもと、JAの総合力を発揮し、多様なニーズに役立つサービスの提供を行動基準としております。当組合ではこの理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者皆さまの生活と必要性に応じた商品の提案・サービスの提供を通じて豊かな生活づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することができる統一的な指標」（「比較可能な共通KPI」）も同時に公表いたします。尚、東京みどり農業協同組合では2024年4月より投資信託の取扱いを開始しております。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が、共同で事業運営しております。

東京みどり農業協同組合

# I .取組状況

## 1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

### (1) 信用の事業活動

【原則2本文および（注）、原則3（注）原則6本文および（注2、3、6、7）補充原則1～5本文および（注）】

資産形成・資産運用のご相談をいただいたお客さまに提供する金融商品として、様々な「投資に関するご要望や目的」等、勤労世帯から高齢者までお客様の多様なニーズに合った商品を取り揃えるとともに、お客さまの選びやすさも考慮したうえで、一定の商品数に絞った「JAバンク セレクトファンド」をご用意しております。

「JAバンク セレクトファンド」は、主に以下の①～⑤の基準をもとに商品を選定しており、お客様のニーズに合った商品を取り入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行なわない等、定期的な商品ラインナップの見直しを行ないます。また、都度意向確認を実施し、お客さまのリスク許容度を確認したうえで、そのリスク許容度に沿った商品を案内いたします。なお、当組合では、上記の金融商品の組成に携わっておりません。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
REIT型	1	2
バランス型	7	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

- ① **長期投資**：長期投資を前提とした投資信託であること
- ② **手数料**：手数料が良心的な水準であること
- ③ **運用実績**：過去の運用実績が相対的に良好であること
- ④ **将来性**：資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
- ⑤ **運用体制**：運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※商品選定の考え方：JAバンクHP

<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>

# I .取組状況

## 1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

### (2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、  
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- 当JAは、お客様の生活や営農を取り巻くリスクに対し、安心して備えられるようお客様個々のニーズに沿った最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- 市場性リスクのある共済仕組みの提供は実施しておりません。
- JA共済満足度調査において、令和6年度活動実績における総合満足度は「97.8%」となっており、高い水準となっております。

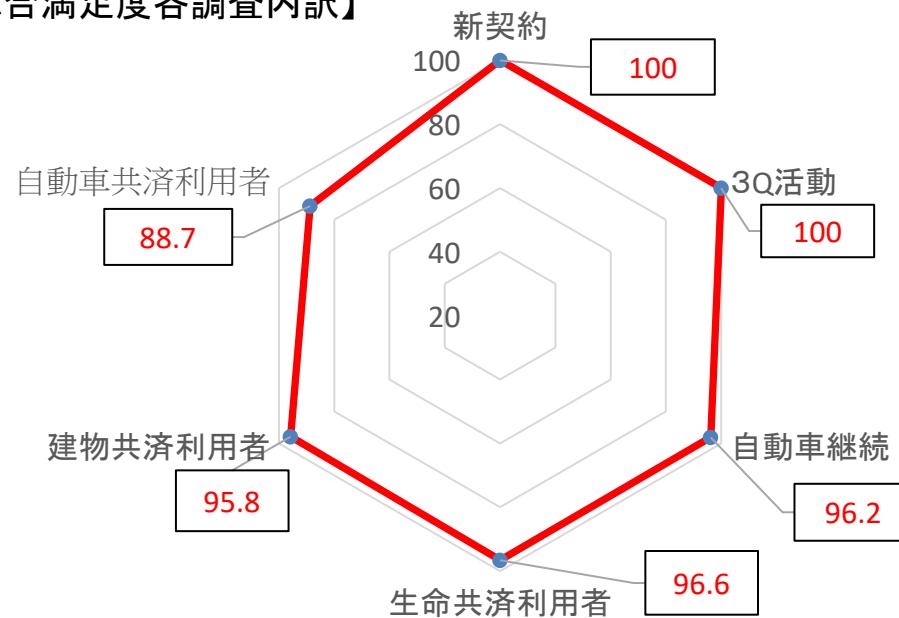
総合満足度

97.8%

※総合満足度  
JA共済全般に対する満足度

※総合満足度は、6段階評価で  
「とても満足+満足+やや満足」の割合

【総合満足度各調査内訳】



# I .取組状況

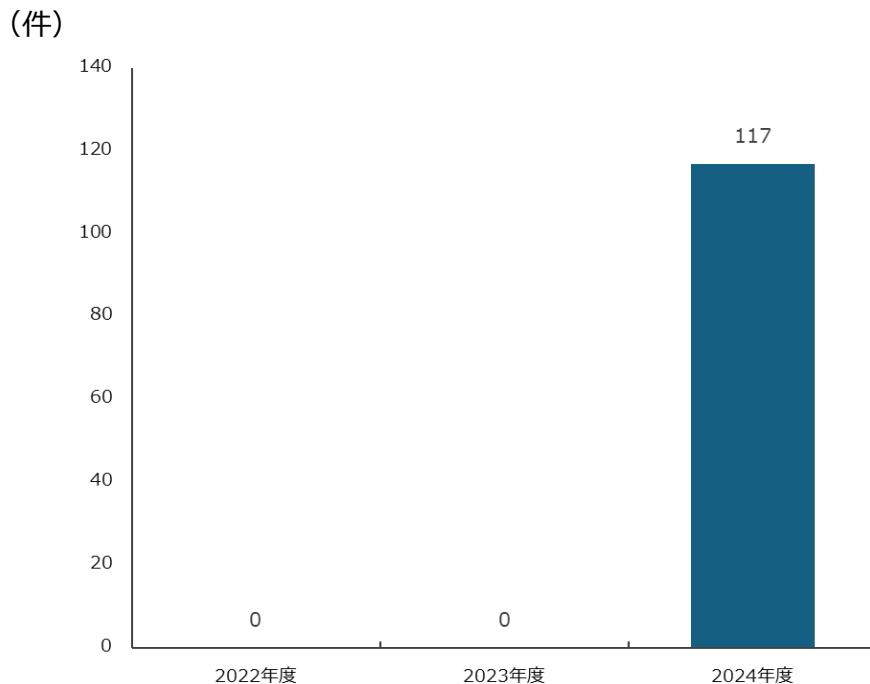
## 2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

### (1) 信用の事業活動

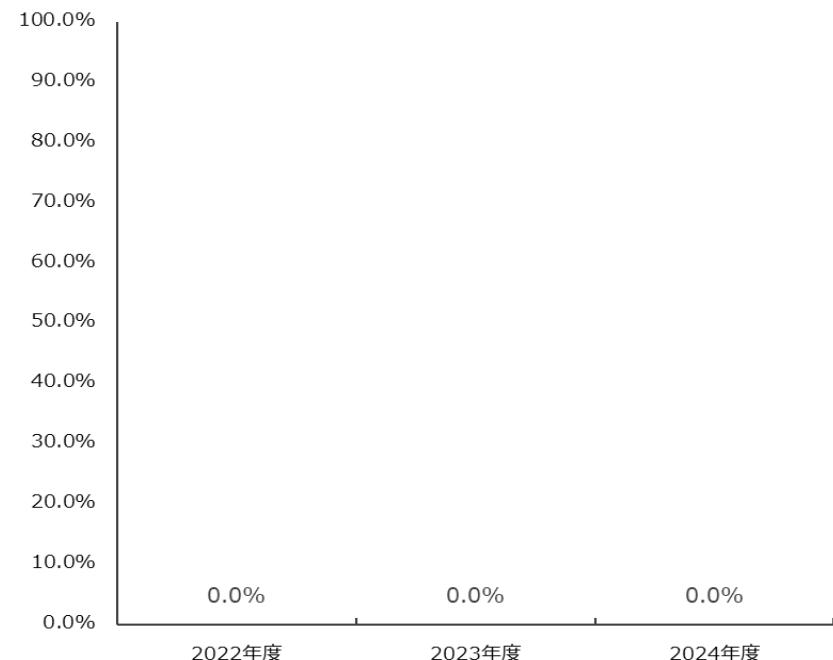
【原則 2 本文および（注）、原則 5 本文および（注 1～5）、  
原則 6 本文および（注 1～7）】

- 投資信託商品をご提案するにあたり、組合員・利用者の皆さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的を把握し、長期、分散、積立の重要性について資産運用ガイドンスを用いて説明を行い、特に、ご高齢のお客さまに対してはご家族も含めてご理解いただけるよう丁寧に説明を行っています。その結果から「投信つみたて」を利用されています。2024年度は「毎月分配型ファンド」の取引はありませんでした。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞

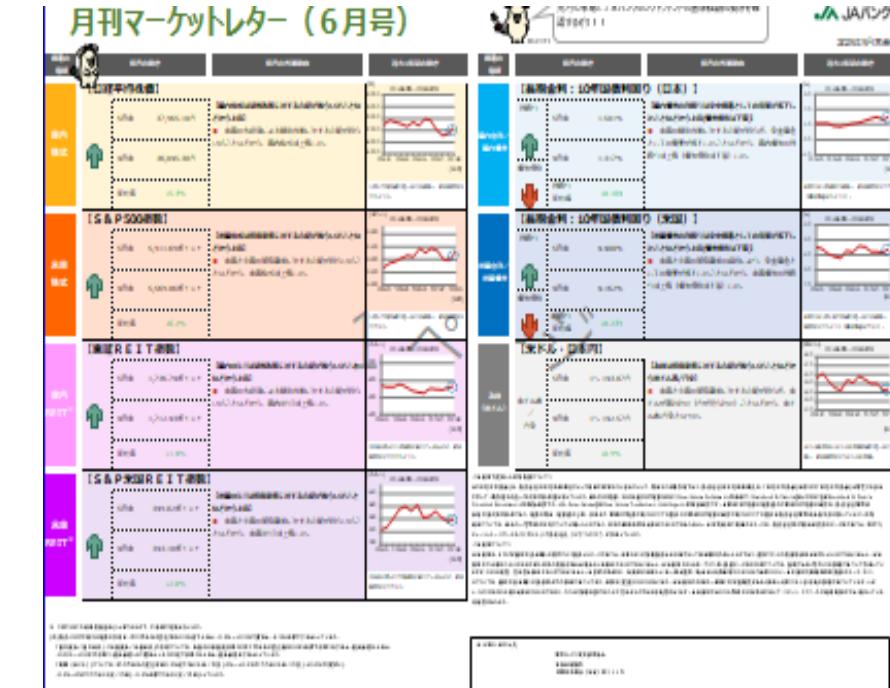
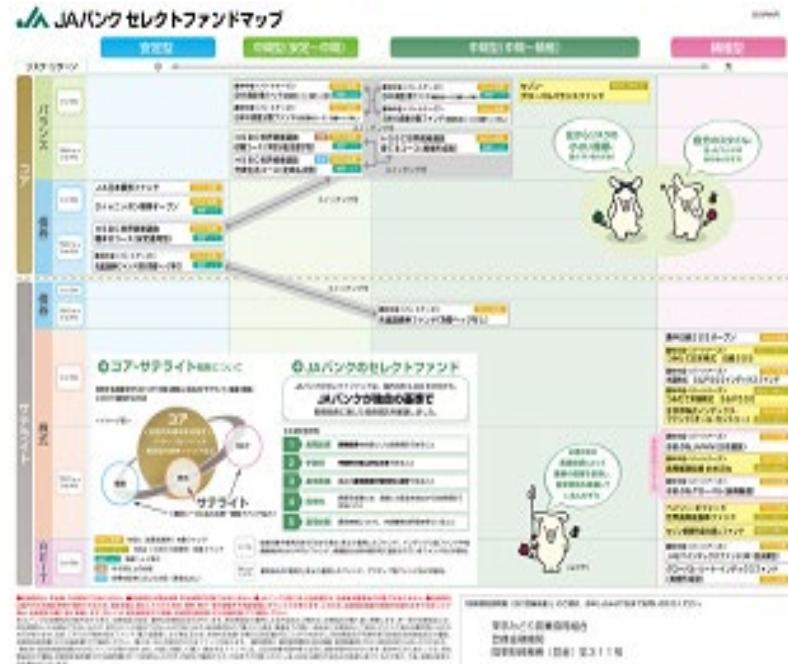


# I .取組状況

## 2 組合員・利用者本位の提案と情報提供②

### (1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について「JAセレクトファンドマップ」や「重要情報シート」等を用いて分かりやすくご説明し、販売後においても、購入商品等についてご理解をいただけるよう、「月刊マーケットレター」等を活用し継続的なアフターフォローを実施しております。



# I .取組状況

## 2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

### (2) 共済の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

#### ① 共済仕組み・サービスの提案

- ・ お客様一人ひとりのご意向を聞き取らせていただきながら、お客様のご意向に即した保障を提案しております。

#### ② 情報提供

- ・ パンフレットやチラシなど説明用資材を用いながら、丁寧に各種金融商品や公的保険制度について情報提供を実施しています

#### ③ 契約締結時の対応

- ・ 契約にあたって重要な情報については「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）」を必ず交付することで、お客様のご意向に沿った共済仕組み・サービスであることを確認しています。

#### ④ 高齢者対応

- ・ ご高齢のお客さまとのお取引の際には、ご家族に同席をいただき、ご理解・ご納得いただけるよう十分な説明を行っています。なお、令和7年度から新たに「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡しし、ご契約者さま・被共済者さまだけでなく、ご親族の方にもご安心いただけるよう努めております。

#### ⑤ 各種手続きとアフターフォローの実施

- ・ 各種手続きに際しては、お客様に分かりやすいご説明を常に心掛けるとともに、アフターフォローとして、共済金の請求漏れの確認や、現在ご加入の保障内容の点検など、3Q活動やあんしんチェックにも積極的に取組んでおります。

# I .取組状況

## 3 利益相反の適切な管理

【原則 3本文および（注）】

- 当組合では、お客様のリスク許容度を計る「スタイル診断シート」と「ご意向確認書」に基づき、お客様のリスク許容度にあった投資信託商品を提案することとしており、ご意向に反した販売手数料の高い商品を優先するような提案はしておりません。また、当組合で定める「利益相反管理方針」等に基づき、営業部門から独立した経営企画部リスク管理課による月次・四半期の定期的モニタリングにより、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を適切に管理しております。

## 4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

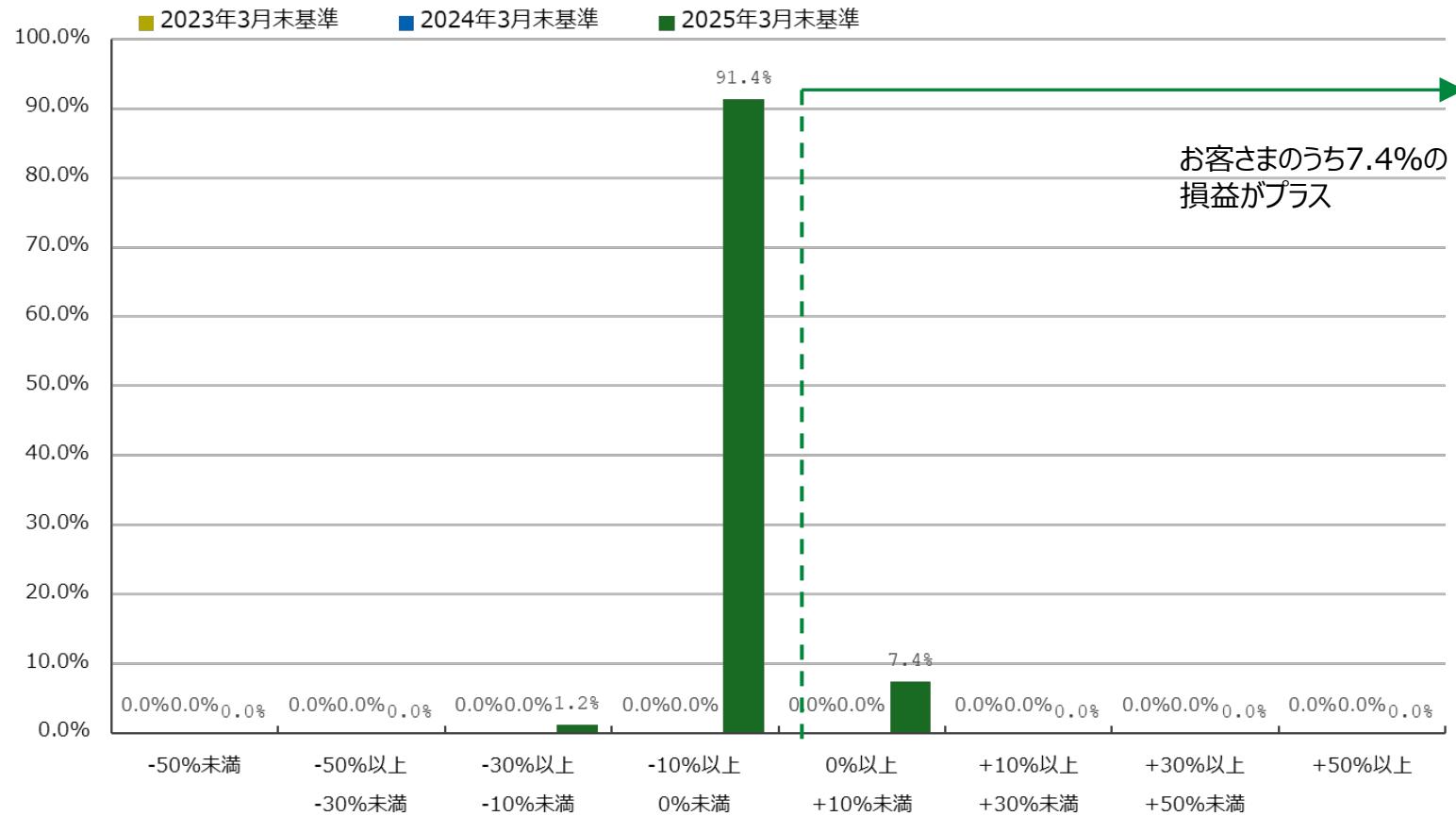
【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

- 研修による指導や職員の資格取得を推奨することにより、販売担当者からお客さまへの提案力向上に努めています。
- 系統内研修および外部研修機関を利用した各種研修等を受講することにより、高度な専門性を有し誠実・公正に業務を行うことができる人材を育成しております。
- 金融商品取引法、その他の法令等の遵守状況および帳簿書類等の管理状況についてモニタリングする態勢を組合内に構築し、法令・諸規則等違反の防止に努めています。
- お客さまの多様な資産運用や保障ニーズに応え、的確な金融商品・保障・サービスを提供し、堅確な事務を行うため、資格取得の支援等に取り組んでおります。

## II. 比較可能な共通 KPI

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 2024年4月から投資信託の取扱いを開始し、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してまいりましたが、米国による関税政策による景気への影響が懸念されたこともあり、「運用損益別顧客比率」は、2025年3月末時点では全体の7.4%のお客さまの損益がプラスという結果となりました。

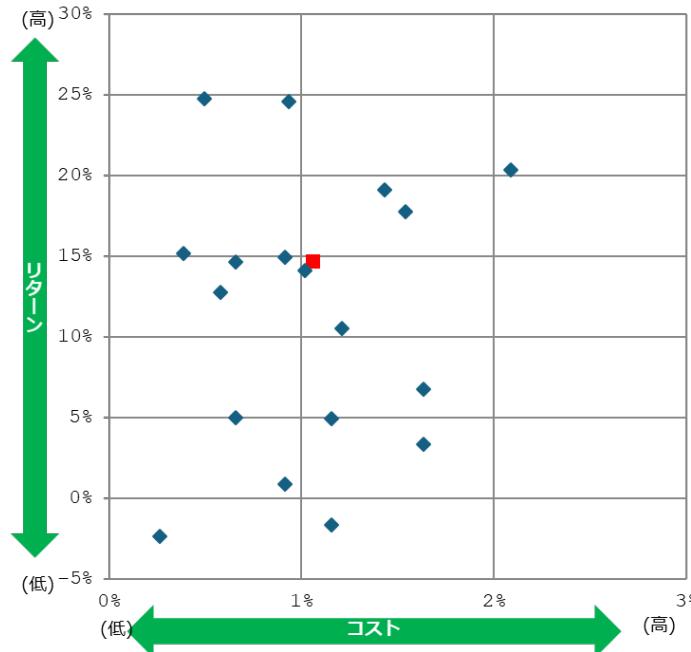


## Ⅱ. 比較可能な共通 KPI

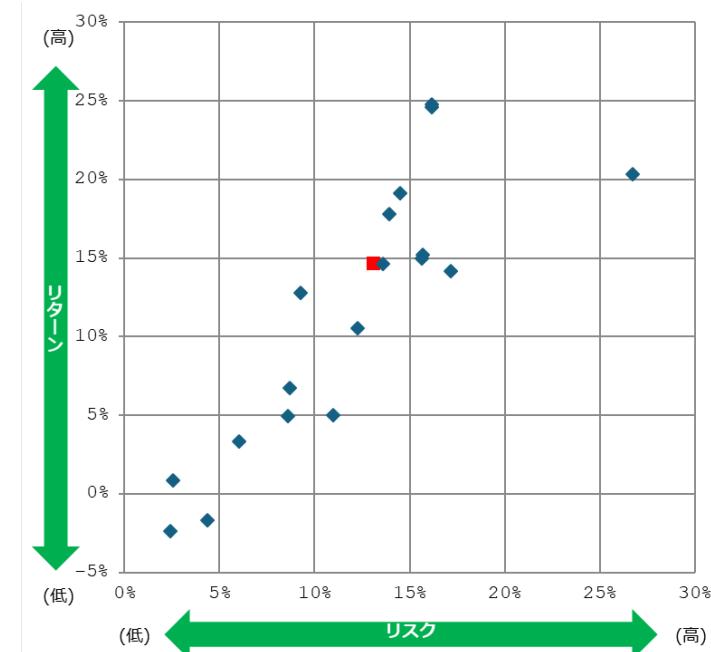
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2025年3月末）

- JAバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.06%、平均リスク13.10%に対して、平均リターンは14.68%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通KPI

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	おおぶね JAPAN（日本選抜）	農林中金バリューアインベストメント（株）	10.52%	12.27%	1.21%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.62%	16.15%	0.94%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.14%	14.48%	1.43%
4	おおぶねグローバル（長期厳選）	農林中金バリューアインベストメント（株）	14.63%	13.58%	0.66%
5	日米6資産分散ファンド（資産形成コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.93%	8.59%	1.16%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.96%	15.62%	0.91%
7	つみたて米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.77%	16.16%	0.50%
8	HSBC世界資産選抜 育てるJ-（資産形成型）	HSBCアセットマネジメント（株）	6.76%	8.71%	1.63%
9	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	12.76%	9.29%	0.58%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	17.77%	13.93%	1.54%
11	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.19%	15.67%	0.39%
12	HSBC世界資産選抜 収穫J-（予想分配金提示型）	HSBCアセットマネジメント（株）	3.35%	6.05%	1.63%
13	日米6資産分散ファンド（安定運用コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-1.66%	4.34%	1.16%
14	J-REITインデックス（年1回決算型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.99%	10.96%	0.66%
15	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	20.35%	26.74%	2.08%
16	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne（株）	0.87%	2.57%	0.91%
17	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-2.36%	2.41%	0.26%
18	グローバル・リート・インデックスファンド（資産形成型）世界のやどかり	大和アセットマネジメント（株）	14.15%	17.14%	1.02%
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		14.68%	13.10%	1.06%

※ 2025年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は18本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。